

県民等意見聴取について

1 「元気創出！どこでもトーク」について

(1) 分野別

様々な分野で活動に取り組む県民の意見を知事が直接伺う意見交換会

[開催状況・参加者]

回数	実施日	場 所	テーマ	参加者
第1回	4月20日	道の駅阿武町	中山間地域における 農林水産業振興	阿武町内の農林水産業関係者 11名
第2回	4月21日	松田屋ホテル	中小企業の成長支援	県内商工会議所会頭 16名
第3回	5月10日	山口きらら博 記念公園	安全で安心な地域づくり	地域の安心・安全の確保 に向けた諸活動に取り組 んでいる方々 9名
第4回	5月16日	山口県庁	女性の活躍促進	県女性団体連絡協議会加 盟団体の代表者 12名
第5回	5月16日	山口県立大学	元気な山口県づくり	山口県立大学学生 15名
第6回	5月17日	道の駅 ソレーネ周南	交流人口の拡大による 地域経済の活性化	県内「道の駅」の駅長 7名
第7回	6月11日	山口県 社会福祉会館	安心して子どもを生 み育てられる環境づく り	やまぐち子育て県民運動 推進会議委員、子育てコ ーディネーター 8名
第8回	6月15日	山口県 看護研修会館	看護師の確保と資質 の向上	山口県看護協会役員 7名
第9回	6月23日	山口県庁	農山漁村女性の活躍 促進	県農山漁村女性連携会議 構成団体の代表者 10名
第10回	8月19日	下関グランド ホテル	水産業の振興	県内の漁業関係者 15名
第11回	8月21日	山口県医師会 館	地域医療の充実	山口県医師会役員 18名

(2) 地域別

県民局等の圏域ごとに、地域の様々な課題について知事が直接意見を伺う**地域別の懇談会**

[参加者] 地元企業の経営者や地域づくりリーダーなど、日頃から地域で活躍されている方

[テーマ] 県の元気創出に向けて

[開催状況・参加者]

回数	実施日	時間	地域名	実施場所	参加者
第1回	H26. 8. 2(土)	13:00～14:30	宇部・小野田	宇部総合庁舎	9名
第2回	H26. 8. 17(日)	9:30～11:00	下 関	下関総合庁舎	9名
第3回	H26. 8. 18(月)	18:00～19:30	萩	萩総合庁舎	8名
第4回	H26. 8. 25(月)	18:00～19:30	長 門	長門土木建築事務所	8名
第5回	H26. 8. 30(土)	9:00～10:30	柳 井	柳井総合庁舎	10名
第6回		13:30～15:00	岩 国	岩国総合庁舎	7名
第7回	H26. 9. 6(土)	10:00～11:30	山口・防府	山口総合庁舎	8名
第8回		13:30～15:00	周 南	周南総合庁舎	8名

2 外部有識者からの意見聴取について

有識者、学識経験者による専門的かつ大局的な見地からの意見を聴取する「**未来開拓チャレンジプラン懇談会**」を開催

[委 員]

分 野	氏 名	所属団体及び役職
産 業	川 上 康 男	山口県商工会議所連合会 会頭
	木 村 ひろみ	山口県農山漁村女性連携会議 会長
	松 村 孝 明	一般社団法人山口県観光連盟 会長
地 域	白 井 啓 二	錦川流域ネット交流会 代表世話人
	船 崎 美智子	NPO法人やまぐち県民ネット 21 理事
人 材	相 原 次 男	宇部フロンティア大学 学長
	杉 山 美 羽	NPO法人あっと 理事
安心・安全	小 田 悦 郎	一般社団法人山口県医師会 会長
	加登田 恵 子	山口県立大学 附属地域共生センター所長
	三 浦 房 紀	山口大学 副学長
行 財 政	齊 藤 由里恵	徳山大学 経済学部准教授
	白 井 博 文	山口県市長会 会長

(計12名)

[開催状況]

第1回：6月 9日(月) 13:30～15:00(骨子案について)

第2回：9月19日(金) 13:30～15:00(素案について)

第3回：最終案作成段階で開催

3 市町長との意見交換会について

市町の意見を踏まえながら、チャレンジプランの充実等を図るため、市長・町長との意見交換会を開催

[開催状況]

区 分	実施日	時間	実施場所	参加者
市長との意見交換会	H26. 8. 25(月)	15:00～16:00	萩博物館	13市長等
町長との意見交換会	H26. 8. 29(金)	14:00～15:00	阿武町役場	6町長

「元気創出！どこでもトーク」での主な意見

<どこでもトーク（分野別）>

1 産業活力創造戦略関連

港湾、工業用水整備	<ul style="list-style-type: none"> ・バルク港湾、工業用水等の取組を着実に推進していただきたい。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の輸送コスト削減にもつながるので、山陰道萩益田間等、道路整備を進めてほしい。
中小企業	<ul style="list-style-type: none"> ・独自技術を持つ中小企業を育成して行ってほしい。 ・創業支援など中小企業支援に取り組んでいただきたい。 ・地元零細企業では、まだデフレが解消されておらず、支援をいただきたい。
6次産業化、地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・山口のブランドとして地域資源を選択・集中し、国内外への売り込みをしっかりと応援してほしい。 ・新たな郷土料理の開発で起業を考えている。ご指導をお願いしたい。
農林水産業の需要拡大、販路開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の需要拡大のために、全国へ情報発信していただきたい。 ・やまぐち和牛のブランド力向上や安定供給、増産に取り組んでほしい。 ・儲かる漁業にしていかないとこのまま続けるのは難しいのではないか。 ・カイガラアマノリなど、もっと全国に発信するべき。
農林水産業の担い手対策	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次産業は後を継ぐ人がなかなかいない。女性の力の活用も含め、後継者対策をしっかりと行ってほしい。 ・担い手対策として、研修等の体制づくりができないか。 ・新規就農、就漁者に対する立ち上がり、独り立ち支援を充実してほしい。 ・県外から来たニューフィッシャーを引き留める取組が大事である。 ・農山漁村の女性が培った知恵や技をネットワークを組んでブランド化している「やまみちゃん」は重要な取組である。 ・第1次産業は高齢化が急速に進んでいる。 ・漁業従事者の収入面は厳しい上、燃料価格や資材の高騰で生活は厳しい。 ・ニューフィッシャーが独立してやっていくのが厳しい状況で、支援をいただきたい。 ・ニューフィッシャー事業の要件を柔軟に運用していただきたい。
県産品の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> ・県産品の安定供給につながるよう、生産基盤の拡充を進めていただけないか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・萩沖などは魚が獲れず大変である。 ・水揚げが大幅に減少しているが、他県と連携した取組を行うべき。 ・ウニが獲れず困っている。藻場の早期復旧をお願いしたい。
観光、情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新に関する観光の取組を進めていってほしい。 ・NHK大河ドラマ「花燃ゆ」を起爆剤とした観光面の取組を支援してほしい。 ・山口県には自然や温泉など、いいものがたくさんあると思うが、県の魅力のアピールが足りないのではないか。 ・釜山など、国外での観光情報発信が不足しているのではないか。 ・山口県は観光地間の距離が遠く、移動に不便を感じることもある。観光路線バス増便など、県内観光の円滑化に取り組むべきではないか。 ・山口県の自然や農業などをもっと見せるような観光ツアーを構築すれば集客につながるのではないか。 ・県内の温泉を活用した外国人観光客の誘致をしてはどうか。

2 地域活力創造戦略関連

交通の利便向上	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関の利便性向上に取り組んでほしい。 ・慢性的に渋滞が続く大竹岩国道路等、東部の県道改修をお願いしたい。
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトなまちづくりへの支援をお願いしたい。 ・商店街の空き店舗が増えて寂しく感じる。中心商店街の活性化に取り組んでほしい。 ・暮らしやすいまちづくりは子育てしやすいまちづくりにも通じるのでは。 ・人口減少社会にあっては、人口を集約することが必要になってくるのでは。 ・まちづくりのコンパクト化をすすめていくべき。 ・お年寄りが住みやすいよう、商店街の活性化などに取り組むべきではないか。
中山間地域	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地のネットワークづくりに取り組むべき。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場における電気自動車対応ができないか。 ・猿、いのしし等の鳥獣被害は農業経営に影響が大きい。対策をすすめていただきたい。

3 人材活力創造戦略関連

少子化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・日本創成会議の提言を参考に、少子化対策に本気で取り組んでいただきたい。 ・結婚機会の提供、結婚出産の早期化に努めるべきではないか。 ・多子世帯への支援、不妊治療への補助を充実させるべきではないか。 ・高齢出産に対応した体制を構築するべき。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・時短制度の利用促進など、県が率先して取り組んでいただきたい。 ・子育て支援機関について、年少期からの周知が必要。 ・子育て応援宣言の登録企業にメリットになるような仕組みが必要ではないか。 ・企業の育児休業取得促進を進めるべき。 ・子育ての県民運動により、もっと子どもを産みやすい雰囲気をつくるべき。 ・待機児童の解消に努めてほしい。 ・児童虐待を防止するための体制を整備するべき。 ・働きながら子どもを育てる環境を整備してほしい。 ・時間休を取得できる企業を増やす活動に取り組んでほしい。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学習しやすい環境の整備を進めてほしい。 ・保護者と子に対し、食育活動を進めていくべきではないか。 ・子どもへの消費者教育も必要ではないか。 ・たくましく、強い子どもを育てていくことが重要ではないか。
女性の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の人材育成を推進していただきたい。 ・県が率先して女性登用を促進してほしい。 ・結婚等で退職した女性の資格取得等、再チャレンジの支援に取り組んでいただきたい。 ・女性は仕事や子育てなどで、いろいろな活動に支障が出るのが残念。 ・漁業は男女共同参画が遅れている。 ・院内保育所の設置など、女性医師が働きやすい環境づくりに努めてほしい。
雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の働き場を創出してほしい。 ・ワークライフバランスの取組は、仕事面以外にもメリットが多く、推進すべき。 ・県外の就職説明会に参加して、地元出身の学生を採用したいがなかなかうまくいかない。 ・人口流出を防ぐため、若者の雇用・生活の安定化に取り組んでほしい。

高齢者の社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事のノウハウや人脈を有した中高年を活用していくべきではないか。 ・シニア女性の活用について、雇用を含めた対策に取り組んでほしい。
----------	---

4 安心・安全確保戦略関連

防災	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の視点を大事にした防災組織づくりができないか。
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職の確保・定着が大きな課題である。 ・結婚・出産・介護等による看護職の離職が問題である。 ・医療現場は人手不足の上、忙しく、研修等が難しいことも課題である。 ・医師、看護職については地域偏在があるので、確保に力を入れてほしい。 ・山陰の医師の高齢化が特に顕著である。 ・へき地医療には様々な難点があり、幅広い支援が必要ではないか。 ・へき地医療への対応として医師を短期間紹介できるような事業を実施してはどうか。 ・看護師への修学資金貸付について、返還免除要件を緩和できないか。
交通安全・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の安全利用を促進していただきたい。 ・道路だけでなく、歩道など交通環境を整備してほしい。 ・安心安全な生活環境の整備を進めてほしい。 ・防犯団体の活動を支援していただきたい。
高齢者の安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自動車運転や高齢者を対象とした詐欺等に対する配慮が必要ではないか。 ・地域包括ケアシステムなど、福祉と連携した防犯関係機関のネットワーク構築に取り組むべきではないか。

5 行財政基盤強化戦略関連

県財政	<ul style="list-style-type: none"> ・県の財政健全化を推進していただきたい。
-----	--

6 その他

プラン関係	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の意見を取り入れたプラン策定に取り組んでいただきたい。
-------	--

<どこでもトーク（地域懇談会）>

1 産業活力創造戦略関連

港湾整備	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、港湾の競争が激化しており、対策が必要ではないか。 ・下関港や長州出島の港湾機能の整備や企業立地の支援などをお願いしたい。 ・老朽化した港湾施設への支援をお願いしたい。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・道路など、交通網の整備を進めていただきたい。
創業、中小企業	<ul style="list-style-type: none"> ・何人かが組んで事業を立ち上げられるような施策はできないか。 ・山口県ではいまだにデフレ基調が続いており、対策が必要ではないか。
ものづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへものづくりの楽しさを教える取組ができないか。 ・県が作成した「山口県の工業」は大変わかりやすいのもっと活用してはどうか。
6次産業化、地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源をまとめたプラットフォームを作っていく必要があるのではないか。 ・6次産業化に取り組んでいるが、生産量を拡大した場合の売れ残りのリスクが課題。
農林水産業の販路開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・県産木材の良さをもっと売り込み、ブランド力を高める必要があるのでは。 ・海外進出するために相当まとまった生産量が必要。 ・魚価の低迷が課題となっており、工夫が必要。
農林水産業の担い手対策	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者として戻ってきたときに生活ができるような体制づくりが必要ではないか。 ・集落営農組織を法人化したのが、高齢化で先が心配。 ・新規就農を希望する人がいても土地がないのが問題。 ・果樹栽培は初期投資が大きく、収益が上がるまで年数がかかるため後継者がいない。 ・新規就農に際し、農業所得の低さがネックである。 ・山田錦などの酒米が不足しており、酒米の農家を育てる必要があるのではないか。 ・空き家を使って新規就農促進の取組ができないか。 ・農業をやめた家の農業機械を有効利用できないか。
県産品の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業では獲れる魚種が決まっているが、運用が緩和できないか。 ・近年漁獲高の減少が課題となっている。
観光、情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・県内市町の情報を集約した観光発信をしてはどうか。 ・北浦地区の観光促進には2次交通の充実が必要ではないか。

	<ul style="list-style-type: none">・案内板や Wi-Fi の充実など、外国人旅行者の受け入れ体制を整備すべきではないか。・明治維新について核となる観光拠点が必要ではないか。・県外観光客の減少が課題である。・県内の温泉の良さを発信していくことが必要ではないか。・企業と連携して観光商品の開発をしてほしい。・造り酒屋の支援などが必要ではないか。・新たな特産品づくりを進めてはどうか。・目の肥えた観光客の満足度をしっかりと上げてほしい。・山口の伝統を再評価していただきたい。・クルーズ客船の誘致を是非お願いしたい。・海外の人は日本の田舎風景に関心があり、観光に活かせるのではないか。
--	---

2 地域活力創造戦略関連

まちづくり	<ul style="list-style-type: none">・大型店舗の進出や高齢化などで商店街の疲弊や空きビルの増加がみられる。対策が必要ではないか。・最近では町中ではほとんどコミュニティがない。・まちづくりのリーダー的な存在を育成していくことが課題である。・若い人と高齢者が一緒に住めるまちづくりが必要。
U J I ターン	<ul style="list-style-type: none">・地域を元気にするには若い人を U J I ターンさせる取組が重要ではないか。
見守り	<ul style="list-style-type: none">・高齢者が増える中、地域での見守りが重要である。
中山間地域	<ul style="list-style-type: none">・空き家対策は重要な課題である。・中山間地域をサポートする N P O の後継者がいない。・中山間地域での生活の悩みなど、県と話し合う場を設けていただけないか。・できることは自分でやるが、がけ崩れや鳥獣対策などはお願ひしたい。・国の地域おこし協力隊に入っていたきたいと考えている
環境	<ul style="list-style-type: none">・猿やイノシシ、秋吉台周辺の鹿など、鳥獣被害は大変深刻な問題である。・猟師のなり手が減っている。・下関での風力発電について、県もよく考えてほしい。・地球温暖化が進行し、今後さらにすごい災害が予想される。国と県は早急に手を打たないといけないのでは。・自然環境を維持するため、国や県の支援が必要。・錦川上流は有効な資源であり、もっと活用すべき。

3 人材活力創造戦略関連

少子化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・第2子や第3子に対する金銭的援助が必要ではないか。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・専業主婦への子育て支援も必要ではないか。 ・ワークライフバランスについて、男性、役所が率先すべき。 ・医療費無償化は、些細な事でも病院に行くことを癖づかせて子育てが大変に感じたり、医療費増大の温床になったりするのではないか。 ・留守家庭学級や学童クラブの拡充など、母親への支援をお願いしたい。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・心が荒れた子どもたちが多くなってきており、コミュニティ・スクールなど、地域による学校への関わりが重要ではないか。 ・教員を減らさないようにしていただきたい。 ・児童図書の充実など、読書環境の整備をお願いしたい。 ・企業家精神を育むような教育が必要ではないか。 ・キャリア教育で、新しいビジネスを創造することの可能性を知ってもらうことも必要ではないか。 ・勉強についていけない子どもたちのフォローが必要。 ・県東部に大学が少なく、人材育成や地域連携の面で課題がある。 ・子どもに関する様々な課題への対応のため、スクールソーシャルワーカーの役割が重要である。 ・学ぶ意欲のある子どもへの経済的支援が必要。
女性の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の実現に向けた取組が低調に感じる。 ・女性の活躍は男性の問題でもあるという切り口が必要ではないか。 ・やる気のある女性の活用は重要である。 ・男女共同参画というのは少子化対策で重要であることを理解すべき。
雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・若年無業者が外に出て働けるように力を入れるべき。 ・最低賃金の在り方について考えるべきではないか。
高齢者の社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の方に元気に過ごしていただくために、文化芸術に取り組んでいただくことは重要である。 ・リタイヤした人をもっと活用していくことが必要なのではないか。
文化	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動に携わる人材を学校教育に活かすべきでは。 ・文化活動を通じた国際交流に支援をいただけないか。
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブに対する支援を考えてもらいたい。

4 安心・安全確保戦略関連

防災	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸の高潮対策について、積極的にお願いしたい。 ・国道 191 号線は雨による通行止めが多く不便である。 ・県東部の国道 2 号線や 188 号線は道路事情が悪く、通行止めなどで困ることが多い。 ・大雨災害の復興に力をいれてほしい。 ・災害に詳しい人材を各地域で育成すべき。 ・地域の消防の管轄をもっと柔軟に運用できないか。 ・学校での避難行動マニュアルが必要ではないか。
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・山陰側では小児科、産科が少なく不安である。 ・看護職員の不足は重要な課題で、働き続けられる職場づくりに努めなくてはならない。 ・訪問看護の充実に向けた人材確保が課題である。 ・初等教育で看護・介護をとりいれるべきではないか。 ・A E D 設置場所についてはよく考えるべき。 ・看護師や保健師の育成に際し、実習施設、教員、学生確保が重要な課題である。 ・女性医師を使っていけないと医療が成り立たない。
介護	<ul style="list-style-type: none"> ・北浦に介護の教育機関がなく、人材が不足している。 ・地域包括ケアセンターが、地域に根差した活動までは手が回っていない。 ・健康は自分で守るものであるという考え方を住民に P R していくことも必要ではないか。 ・認知症対策として徘徊模擬訓練を実施するべき。 ・地域包括ケアを支える介護職員の不足が大きな課題。 ・児童生徒を対象に介護体験をさせる場が必要では。
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティソーシャルワーカーなどの専門職を全県に配置するなど、地域福祉への支援をお願いしたい。 ・最低賃金制度を下回る賃金での雇用も認めるべき。中間就労のような仕組みが必要では。
貧困対策	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困対策をもっと考える必要がある。
交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全対策をもっと必要ではないか。

5 行財政基盤強化戦略関連

行政運営	<ul style="list-style-type: none"> ・I T 技術を活用するなど、市民の英知を行政に反映させるような取組を行ったらどうか。 ・行政が事務的では地域のやる気を潰してしまう。 ・県民が県と話し合える場所がほしい。 ・他の自治体の先進事例などを参考に、どんどん新しいことに取り組んでほしい。
------	---

6 その他

選挙	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬選挙などで若年者の投票率向上に努めるべき。
政策の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・政策の評価について具体的な取組をお願いしたい。

市長、町長との意見交換会での主な意見

1 産業活力創造戦略関連

港湾整備	・港湾の整備に是非力添えをいただきたい。
道路整備	・山陰の道路整備は遅れており、整備をお願いしたい。 ・道路整備をしっかり進めることで安全面や産業面にプラスになるのではないか。
次世代産業	・環境エネルギー産業や水素利活用に期待している。 ・水素を使ったまちづくりを進めるべき。
企業誘致	・超高速ブロードバンドなど、企業誘致のための環境整備を図りたいので是非協力していただきたい。
創業、中小企業	・若者たちの創業支援が重要。 ・大企業の海外進出によって、中小企業が厳しくなるのではないか。
農林水産業の需要拡大、販路開拓	・漁港の整備や、加工・販売等と連携した取組を進めるべき。 ・県産農林水産物を外国に向けて発信することは、大変いい取組である。 ・これが山口県だという農業政策を打ち出すべき。 ・これまでの農業政策の検証が必要。 ・将来の漁業政策をよく考えてほしい。
農林水産業の担い手対策	・農業生産者を育成する取組は重要。
県産品の安定供給	・藻場をしっかりと回復させてほしい。
観光、情報発信	・観光など、地域が自信を取り戻すような取組が重要。 ・道路ができて観光バスが走っていないケースがあり、県と協働して取り組みたい。 ・県内周遊型の観光プランを構築していく必要がある。 ・物産や観光で海外に売り込む際に市単独では苦しいので、県の力を貸してほしい。

2 地域活力創造戦略関連

交通の利便向上	・山陽本線で快速便が走らせることができれば地域間の振興がどんどん進むのではないか。 ・中山間地域には狭い道路や、崩れたら陸の孤島になるような道路があるのでよろしくお願いしたい。
まちづくり	・コンパクトシティの観点からのまちづくりにご協力いただきたい。 ・空き家の問題が深刻であり、県と連携して対策を進めていきたい。 ・山口県にも中次、高次の都市機能が必要ではないか。

中山間地域	<ul style="list-style-type: none">・離島航路の補助を将来的にも継続していただきたい。・恵まれた里山、里海の資源を活かした6次産業化への協力をお願いしたい。・下水が行かないところが中山間地域で多く、合併処理浄化槽の補助が必要ではないか。
環境	<ul style="list-style-type: none">・有害鳥獣を一網打尽にするような研究ができないか。・有害鳥獣対策に協力いただきたい。

3 人材活力創造戦略関連

少子化対策	<ul style="list-style-type: none">・少子化対策としてドラスティックな援助が必要ではないか。・婚姻率の低下や第3子の壁などを踏まえた施策展開が必要ではないか。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none">・福祉医療の負担について、県としての対応をお願いしたい。
教育	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちを海外などに派遣することで能力が開花するのではないか。
女性の活躍	<ul style="list-style-type: none">・子育て支援、女性の活躍をしっかりと支えることが重要である。

4 安心・安全確保戦略関連

防災	<ul style="list-style-type: none">・防災減災対策として、しっかりとした対策をお願いしたい。・地域の方々の自覚を促すような対策が必要。・県内の災害事例を首長が共有する等の取組はできないか。
医療	<ul style="list-style-type: none">・へき地の医療を支える医療施設や診療所について、医師確保に取り組んでいただきたい。・特に、産婦人科についてはしっかりとした体制を構築していただきたい。

5 行財政基盤強化戦略関連

県財政	<ul style="list-style-type: none">・財源がなくては政策も難しい。財源確保が何より重要。
行政運営	<ul style="list-style-type: none">・県と市町との連携強化について、お互い考えるべきでは。